

食物アレルギー患者向け

ECサービス展開

ウイルモア、月内開始

特定成分含まない食品検索

ウイルモア（東京都中央区、石川麻由社長、03・6661・1273）は食物アレルギーを持つ消費者が特定成分を含まない食品を検索して購入できる電子商取引（EC）サービスを月内に始める。アマゾン・ドットコムや楽天などネットショッピングと連動させるほか、食品メーカーからも直接購入できるようにする。年内にはサイトから月4000～5000円程度の代替食の定期販売も行う計画。

サービスは「イーシ」から卵を含まない食品と「」。同社は食品バーコードをカメラにかざして特定成分を確認できるサービスを展開しており、このデータベース（DB）を活用する。ウェアやスマートフォン（多機能携帯電話）のアプリケーション（応用ソフト）

から卵を含まない食品と入力すれば、その商品や販売先が出てくる。

スマホのアプリで使用する場合には全地球測位システム（GPS）を活用し、近くにある飲食店やスーパーも紹介できるようにする。またNTTドコモのスマートフォン

向けネット通販「dショッピング」との連携も検討しているほか、食品メーカーとのアライアンスで販促企画も行ってい

く。ウイルモアでは食品の購入時にネット通販や食品メーカーから受け取る手数料や定期販売を収益

を得るビジネスモデルにより、EC分野で3年後に売上高15億円を目指す。国内では食物アレルギー患者が増加しており、消費者が代替食を簡単に採りやすいように食生活をサポートする。